

わかる英語構文(発展編) (2022年6月27日改訂)

構文とは、文の構造のことです。英語の文は主に、主語・動詞・目的語・補語の4つの要素から構成されています。1つ1つの文について、これらの要素がどうなっているのかを理解できるということは、その文の骨格が把握できているということです。このように大切な英語構文が、高1レベルの基礎から無理なく身につけられます。大学受験にむけて英語の基礎固めとしてお使いください。

■□■ 目次 ■□■

【動名詞を含む構文他】

01. There + be 動詞 + 名詞 + 分詞

【動名詞を含む構文他】

02. 動名詞を含む構文

【動名詞を含む構文他】

03. 譲歩を表す言い方(1)

【動名詞を含む構文他】

04. 譲歩を表す言い方(2)

【同格他】

05. 挿入

【同格他】

06. 節の挿入

【同格他】

07. 同格の表現

【同格他】

08. 省略構文

【分詞構文(1)】

09. 付帯状況を表す分詞構文

【分詞構文(1)】

10. 分詞構文が表す意味

【分詞構文(1)】

11. 過去分詞で始まる分詞構文

【分詞構文(1)】

12. 独立分詞構文

【分詞構文(2)】

13. 分詞構文 (完了形)

【分詞構文(2)】

14. 分詞構文 (否定)

【分詞構文(2)】

15. 分詞構文 (まとめ)

【分詞構文(2)】

16. 〈接続詞 + 分詞〉他

【比較構文】

17.as ～ as one can など

【比較構文】

18.<the+比較級,the+比較級>など

【比較構文】

19.<no more ～ than …>など

【比較構文】

20.<比較級+than any other ～>など

【関係詞(1)】

21.制限用法 (主格)

【関係詞(1)】

22.制限用法 (所有格)

【関係詞(1)】

23.制限用法 (目的格)

【関係詞(1)】

24.非制限用法

【関係詞(1)】

25.which のその他の用法

【関係詞(2)】

26.<前置詞+関係代名詞>(1)

【関係詞(2)】

27.<前置詞+関係代名詞>(2)

【関係詞(2)】

28.関係代名詞 what

【関係詞(2)】

29.いろいろな先行詞

【関係詞(2)】

30.二重限定

【関係詞(3)】

31.関係代名詞 as

【関係詞(3)】

32.関係副詞 (制限用法)

【関係詞(3)】

33.関係副詞 (非制限用法)

【関係詞(3)】

34.whoever など

【関係詞(3)】

35.whenever など

【倒置構文】

36.強調のための倒置

【倒置構文】

37.so や neither などを用いた倒置

【否定構文】

38.部分否定と全否定

【否定構文】

39.二重否定

【否定構文】

40.準否定

【仮定法】

41.仮定法過去

【仮定法】

42.仮定法過去完了

【仮定法】

43.I wish ～など

【仮定法】

44.If it were not for ～など

【仮定法】

45.should, were to を用いた仮定